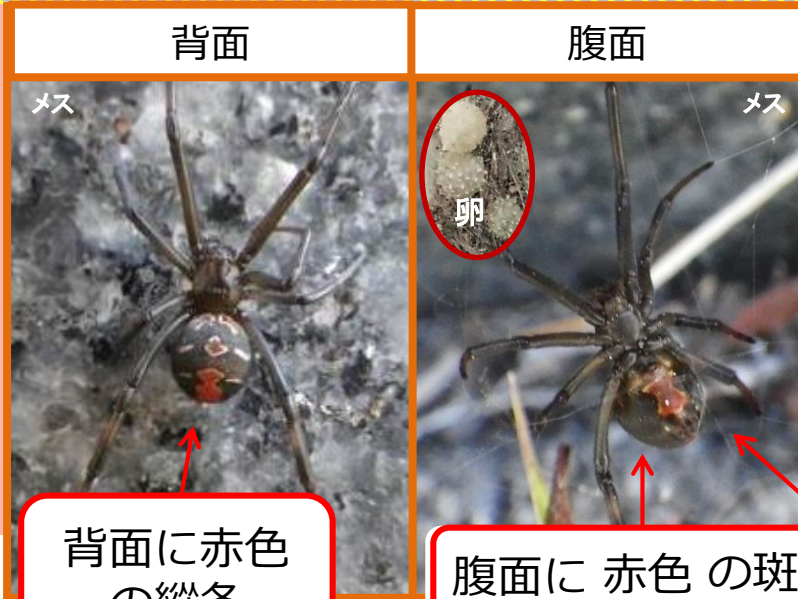


藤宮自治区内でセアカゴケグモが発見されました。

回 覧

上12組旧給水塔付近ガードレールでセアカゴケグモの成虫と卵が見つかりました。ご注意ください。



和名 セアカゴケグモ
科名 ヒメグモ科 (Theridiidae)
学名 *Latrodectus hasseltii*
原産地 オーストラリア
特徴 成熟した雌の体長は、約0.7~1cm。全体が光沢のある黒色で、腹部の背面に目立った赤色の縦条がある。

※左写真は、若い個体であり、成熟すると白い斑紋は消える

腹部は大きな球状

背面に赤色の縦条

腹面に赤色の斑紋

道路等で見かけたら藤宮自治区までお知らせください

ゴケグモの被害について ※毒をもっているのは雌だけです

咬まれたときの症状

- 局所の疼痛、熱感、痒感、紅斑、硬結、区域リンパ節の腫張が生じます
- 通常は数時間から数日で症状は軽減しますが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがあります
- 重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じます

咬まれた場合は

- 咬まれたときは、すみやかに医療機関にご相談ください
- 重症化した場合は抗毒素血清による治療が必要です
- 咬んだクモの種類がわかるように、できれば殺したクモを病院へご持参ください

ゴケグモの生息する場所

- 日当たりの良い暖かい場所で、地面や人工物の窪みや穴、裏側、隙間に営巣します
例)自動車、プランターの底、室外機の裏、庭に置いた靴の中など
- 屋外に置かれていた傘、衣服、おもちゃ等に付着して、屋内に持ち込まれる可能性があります

咬傷例

- ゴケグモは攻撃性はありませんが、触ると咬まれることがあります
- 日本では主に6~10月にセアカゴケグモの咬傷例が報告されており、ほとんどが軽症ですが、重症化することもあります
- 日本ではセアカゴケグモの毒で死亡した例はありませんが、オーストラリアでは死者が出ています
(血清開発後の死亡例はありません)

ゴケグモを発見した場合

- ゴケグモを見つけても、素手で捕まえたり、さわらないようにしてください
- 駆除するには家庭用殺虫剤(ピレスロイド系)を用いるほか、靴で踏みつぶす等の物理的な方法があります
(生きたままのゴケグモを洗い流さないよう注意)
- 周囲にも潜んでいたり、卵がある可能性があるため、よく確認するなど注意してください

